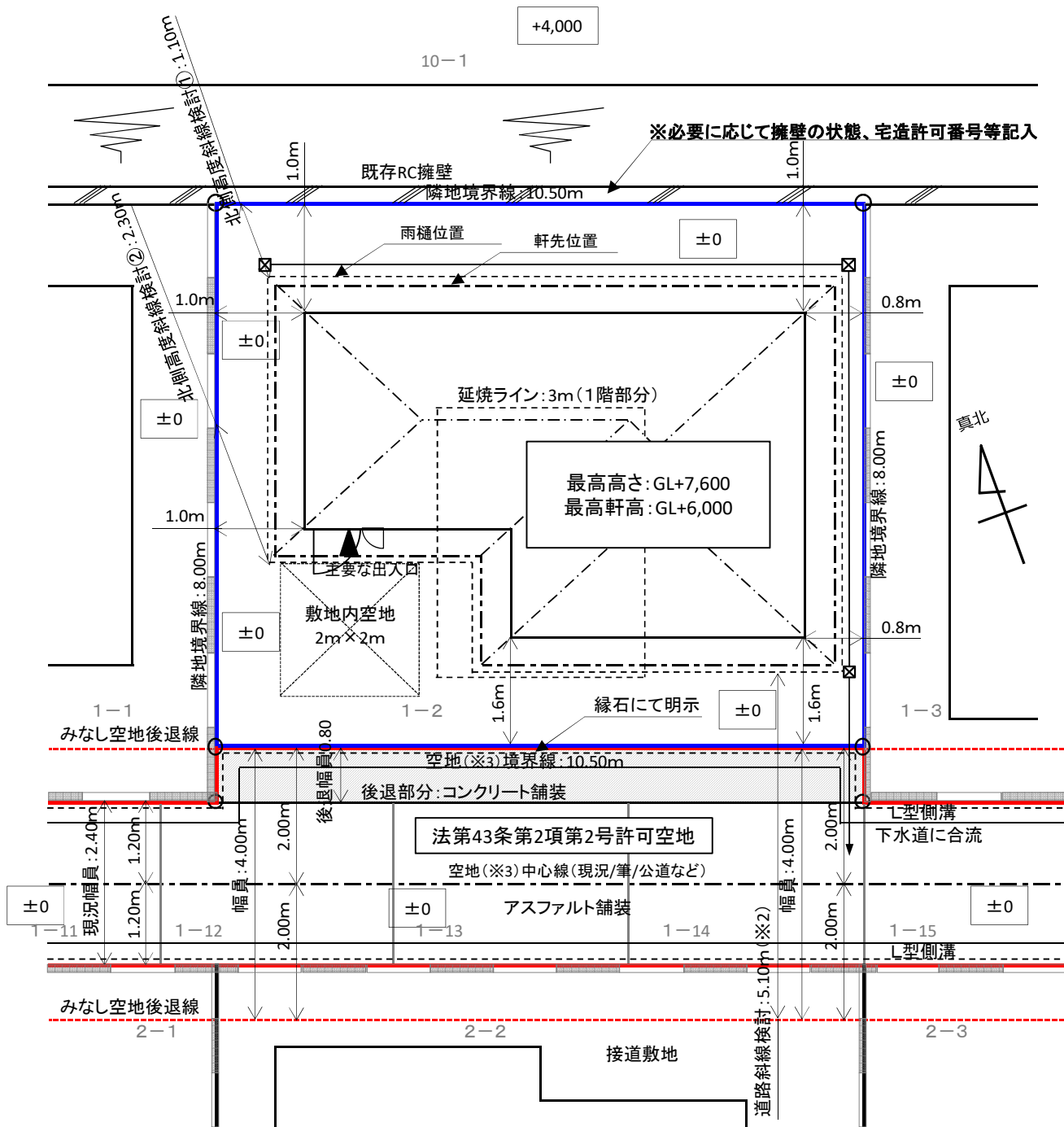


(記載例)【許可申請書配置図】

※包括同意基準3-3の場合

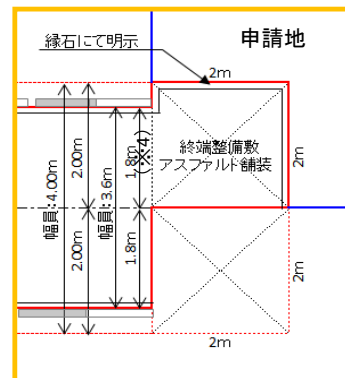
設定 第一種低層住居専用地域
準防火地域
建蔽率:60% 容積率:100%

縮尺1:100



＜図① 申請地が空地の終端にある場合＞

- ※1 空地の終端に位置し、終端整備敷を設ける必要がある場合は終端整備敷を明記してください。(図①参照)
- ※2 法56条第7項を適用する場合は、天空率図を添付してください。
- ※3 道路ではないので注意。
- ※4 障害物により有効幅員1.8m以上確保できない場合、事前に障害物を撤去する必要があります。



<記載事項>

- 縮尺及び方位
- 空地を赤、許可敷地を青で囲む。
- 許可空地の位置、形状、幅員、種別及び舗装仕様の明記
- 後退部分又は終端整備敷の位置、形状、幅員及び舗装仕様の明記
- 空地境界線の位置及び明示方法
- 空地に接する部分の長さ
- 空地中心線根拠(現況・筆・公道など)
- 申請建築物の主要な出入り口の位置の明記
- 申請建築物と境界との離れ距離の明記
 - 外壁後退距離0.5m以上あるか(包括3-3(3)ア(ウ)の場合)
- 敷地周辺の地形及び地物の明示
- 土地の高低(敷地・隣地)の明示
- 延焼ライン、構造(耐火・準耐火・防火)、防火設備の明示(包括3-3(2)ウ及び(4)イの場合)
- 2×2m敷地内空地位置の明記(包括3-3(3)イの場合)
- 路地状敷地の延長、幅員(最大・最小)(包括3-3(3)ア(ウ)の場合)
- 雨水排水処理施設の位置及び経路
- 筆界の位置
- 道路斜線・高度斜線チェック位置とその距離を明記の上、検討式を記載し、立面図に斜線を記入